

2020年6月29日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社 NITTO の全株式を取得

ニューホライズン キャピタル株式会社(本社 東京都港区西新橋、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」)が管理運営する、ニューホライズン 3号投資事業有限責任組合(以下総称して「弊社」)は本日付で、株式会社 NITTO(本社 神奈川県川崎市、代表取締役社長 馬場 和彦、以下「NITTO」)の全株式を取得しました。

NITTOは、1970年に塗装工事業を目的として創業し、鋼構造物塗装工事(鉄塔、道路、橋梁等)、建築工事、有害物除去工事、及び防錆・防食金属溶射工事等の実績を積み重ねてきました。同社は、東京都や神奈川県の公共工事の入札において必要となる技術評価点で、業界トップクラスの地位を誇っており、優れた技術と高品質の業務を提供する鋼構造物塗装事業者として顕著な実績と知名度を有しています。

社会インフラの老朽化への対応は、日本が直面する重要課題であり、今後、橋梁や鉄塔等の維持修繕工事に対する需要は一層高まるが見込まれています。弊社は、当該分野において豊富な経験と高い技術力を有する NITTO に更なる成長が期待できると判断し、今回の投資実行にいたしました。

弊社は、同業他社の買収等を含む人的資源の充実化やガバナンスの強化等に取り組み、NITTO の全役職員と一丸となって同社の企業価値向上のために尽力する所存です。

なお、新組織体制としては、代表取締役は馬場和彦氏が続投し、弊社から新たに取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 18 年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超)を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、かがやくコスメ等、開示可能なエクイティー投資先だけで約 40 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:090-5560-6309